

総代の辞

千鳥ヶ淵に映る陽射しも一段と暖かさを増し、水辺の草木をなびかせる風も優しく春の訪れをつげる季節となって参りました。

私達が、令和元年度卒業生として、今日のこの良き日を迎えられたことは、この上もない慶びでございます。ここに卒業生一同を代表して、厚く御礼申し上げます。

今、入学当初を思い起こしますと、大学生活に大きな期待と不安を抱えておりました。しかし、新しい友人との出会いや、興味深い学問への学びを通して、次第に新しい生活にも慣れ、充実した日々を送ることができたと感じております。また、学内行事である大妻祭やスポーツフェスティバルでは、クラスや学科を超えた仲間との交流を通して新たな価値観を学び、自分自身の成長へと繋がる経験をさせていただきました。

私は、家政学部被服学科で被服に関する幅広い分野について学びました。授業では、座学だけでなく実習や実験を通して学んだことで、今までにない経験をすることができ、自らの知識をさらに深めることができました。また、大学での学びから被服に対しより広く学びたいと考え、自ら多くの資格取得に向け勉強しました。大学の授業と資格の勉強を両立させるため忙しい日々を過ごしましたが、難しい資格にも挑戦し、取得することができました。大学での学びを通じ、目標に向かって挑戦し続ける力を得ることができ、私にとって大きな自信となりました。この経験は今後の人生にも活かして参りたいと思います。

卒業論文では、機能性素材がもたらす身体保護効果について実験を行い、論文を作成しました。半年以上、何時間も費やして実験を行うことは非常に大変で、良い結果が得られず苦戦したことを覚えています。しかしながら、ゼミの仲間とも切磋琢磨しながら卒業論文を書き終えることができ、達成感を得ることができました。

私達が今日の日を迎えることができたのは、私達を支えてくださった多くの方々のおかげです。自由に学べる環境を与えてくれた両親をはじめ、講義や実習などにおいて周囲には尊敬する先生方や信頼できる友人の存在があり、時に厳しく時に優しく、真摯に向き合ってくださいました。苦しかったことも含めて、本学で得られた経験や知識は生涯の財産になると確信しております。

私達はこれからそれぞれの思いを胸に自ら選んだ道へと向かって新しい一步を踏み出します。新たな生活には期待や不安がありますが、本学で得られたものを存分に発揮し、自分

らしさを大切に生きていきたいと思います。そして、「女性としての自立」を追求し世界で活躍できる人となれますよう精進して参りたいと思います。

今日まで未熟な私達を御指導くださいました学長先生をはじめ、諸先生方、そして私達のより良い学生生活のために御尽力くださいました本学教職員の皆様に厚く御礼申し上げます。また、勉学の機会を与え、常に暖かく見守ってくださいました保護者の皆様に心から感謝いたします。

終わりに、伝統ある母校、大妻女子大学のますますの御発展を御祈り申し上げまして、総代の辞とさせていただきます。

2020年3月20日

大妻女子大学 卒業生総代
家政学部 被服学科 田中明日実